

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 河川砂防課
 担当名: 荒川中流・小山川流域担当
 内線: 5136 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P29	河川改修費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費	
事業期間	昭和23年度～	根拠法令	河川法第9条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11, 13
						分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	11-5, 13-1
1 事業概要 台風や集中豪雨による浸水被害から県民の生命や財産を守るため、河川改修を推進し、治水安全度の向上を図る。 河川改修事業 事務費の節減等による減額補正 △9,511千円				5 事業説明 (1) 事業内容 台風や集中豪雨等による洪水を安全に流下させるため、県管理河川のうち改修が必要な箇所において、河道掘削や築堤、護岸工等を実施する。 事務費の節減等による減額補正 △9,511千円 (2) 事業計画 市野川(吉見町)外97箇所 5か年計画目標及び目標値 ・治水対策によって床上浸水被害の解消が想定される家屋数 400棟(R4年度～R8年度の累計) ・河川整備が完了した河川の延長 627km(R2年度末)→640km(R8年度末) (3) 事業効果 河川改修を促進し、時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流下させることのできる治水施設を整備することで、浸水被害の軽減を図り、県民の生命や財産を守る。 (4) その他 過去の実績(単位: 千円) 年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 事業費 2,858,921 5,532,985 6,070,507 6,436,007 8,084,577 7,248,007					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 (1)防災対策事業債(自然災害防止事業) 充当率100% %交付税措置 28.5～57%(財政力による) (2)河川等事業債 充当率 90%(通常分 90%) 交付税措置なし (3)緊急自然災害防止対策事業債 充当率100%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.1人=76,950千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		諸収入	県債						
決定額	△9,511		△6,000					△3,511	8,359,771
現計額	8,369,282	120,000	8,216,000					33,282	

事業内訳書

事業名	河川改修費		
単位事業名	河川改修費	予算額	△ 3,981千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△3,981	—	
合計	△3,981	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,920	—	事務費の節減等による減
役務費	△2,061	—	事務費の節減等による減
合計	△3,981	—	

単位事業名	河川改良公共事務費（県単）（事務費）	予算額	△ 5,530千円
-------	--------------------	-----	-----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	△6,000	—	県単独河川改修事業債

単位事業名	河川改良公共事務費（県単）（事務費）	予算額	△ 5,530千円
-------	--------------------	-----	-----------

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	470	—	
合計	△5,530	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△471	—	事務費の節減等による減
需用費	△2,912	—	事務費の節減等による減
役務費	△2,147	—	事務費の節減等による減
合計	△5,530	—	